

会長挨拶

日本小児歯科学会関東地方会  
第19代会長 浜野 美幸



関東地方会の皆様におかれましては、平素より会務にご理解、ご協力を賜りまして感謝申し上げます。昨年4月に早川先生より会長を引き継ぎました浜野美幸と申します。微力ではございますが、関東地方会のために尽力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

さて、2年以上にわたり生活を一変させた Covid-19 は、第8波の心配もありますが、With コロナとして行動制限もなくなりました。関東地方会では、コロナ禍で2年間対面開催ができなかった大会も、昨年10月16日、茨城県取手市において第37回大会関東地方会大会・総会を行い、盛会裏に終えることができました。

約700名以上の多くの会員の皆様にご参加いただきましたこと、御礼申し上げます。リアルで講演を拝聴できる臨場感、ポスター発表会場での活気あふれるディスカッション、久しぶりの再会を喜ぶいくつもの輪、人だかりの企業展示、今までは当たり前と思っていた対面での交流の大切さ、心が通う喜びを実感し、記憶に残るすばらしい大会でした。一方、オンラインを利用しますと、様々な理由で会場に足を運ぶことができない方も参加できますので、その要望があるのも確かです。今後、多くの方に満足していただけるような開催方法を考える所存です。

関東地方会は、今期新たに4名の若い幹事の先生を迎え、新体制になりました。今までも若い先生方の新しい発想から生まれた事業がありますので、今後さらにユニークな企画が展開されるのではないかと思います。

関東地方会における特色のある事業活動の一部を紹介いたします。外部からの意見や要望を受け入れる体制として、モニター会議を年に1回開催しています。各地域と大学代表の先生にモニターをお願いし、現状報告や会務や大会についてのご意見・ご要望をいただいています。また、関東9大学小児歯科学講座と懇談会を開き、各大学の教授の先生方からご意見・ご要望を頂戴しています。大学の先生方には、大会当日の運営のサポートや「関東9大学によるポスター発表」をお願いしておりますが、第37回大会では「当科における患者配布資料について」について発表していただき、大変参考になったという声が多く聞かれました。第38回大会でも興味深いテーマを検討中ですのでご期待ください。

また、本会では外部の他団体との協働事業にも取り組んでいます。口腔衛生関東地方研究会、日本障害者歯科学会、日本歯科衛生学会と共催しています「ジョイント4」は、コロナ禍で中止していましたが、来年度は再開の予定です。ぜひ多くの方に参加していただきたいと思います。また、東京小児科医会と隔年ごとに共同開催しています公開シンポジウムもコロナ禍で延期が続いていましたが、来年度には再開の予定です。小児歯科の枠を超えて、小児科の先生方と一緒に活動ができるすばらしい機会です。HPで広報いたします

のでご参加ください。

さらに本会は、新たに ICT 委員会を設置しました。各会議は、対面とリモートを使い分けて効率化を図っておりますが、今後さらに Web の利用を積極的に進めていきたいと思っております。

現在、巷ではリスクリングが話題になっていますが、歯科界では生涯にわたり学びの継続は以前から変わらぬことで、本会でも大会を通して最新の知見や技術を会員の皆様のために提供するように努めております。また地方会大会では、開催地へ小児歯科を周知啓発することも大事な役目であると認識し、地域にも目を向けつつ、グローバルな視野で活動を継続していきたいと考えております。

最後になりましたが、コロナ禍によるマスクの着用や給食の黙食をはじめ、子どもたちは多くの学びや楽しみを経験できないことが多くありました。それによる子どもたちの口腔機能発達不全の危惧や心の問題が、今後の課題になると思われまます。最後に、これからも小児歯科医療からできることを考え、子どもたちの口腔の健康のみならず、心の健康も守り育てるよう尽力したいと思います。そして一日も早く世界に平和が訪れ、人々の安全、子どもたちの幸せが戻ることを祈っております。

## 第 38 回日本小児歯科学会関東地方会大会 および総会開催のご案内

大会メインテーマ：いくぞ小児歯科—災禍から立ち上がる明日につなぐ臨床へ—

日 時：令和 5 年 10 月 1 日（日）  
場 所：川口総合文化センター・リリア  
大 会 長：高橋康男  
準備委員長：保田将史

### 大会長挨拶

ここ数年、地球規模での感染症の蔓延、武力紛争、自然災害と悲惨な出来事を挙げると枚挙にいとまがありません。バブル期、青春時代を謳歌していた世代にとっては悪夢を見ているかのようです。当時、誰がこのような現在を想像したでしょうか？ 誰もが「あの頃は……」と呟く姿が目に見えます。

マスクをつけソーシャルディスタンスを保つことが日常となった今、人と人の心の距離は広がる一方です。また、何をすることも制限されているような気がします。社会全体が閉塞状態に陥っている感じです。医療界も例外でなく感染症対策一辺倒であり、他の話題が聞こえてこないような気がします。しかし、このような時こそ我々小児歯科医が率先し、臨床の場から現状打破に挑んでいこうという意気込みで第 38 回大会のテーマを「いくぞ小児歯科—災禍から立ち上がる明日につなぐ臨床へ—」とさせていただきます。加えて致し方なく Web 開催となった第 36 回大会で突き付けられたテーマ「どうする小児歯科」に対しても同じ埼玉県開催大会として呼応できればと考えました。

講演では各分野の一線でご活躍の先生方をお願いいたしました。明日からの臨床に役立つだけでなく、きっとと思うところが多い内容に違いないと思っております。ぜひ多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

### 【大会内容】

基調講演	特別講演	臨床講演	認定歯科衛生士	地方会研修セミナー
ランチョンセミナー	研究者の集い	ポスター展示	商業展示	懇親会

# 日本小児歯科学会第 37 回関東地方会大会・総会を終えて

第 37 回大会準備委員長 冨永 真澄

令和 4 年 10 月 16 日（日）に茨城県取手市の取手市民会館・福社会館において第 37 回日本小児歯科学会関東地方会大会が開催されました。

3 年ぶりの対面開催ということで、約 700 名もの方々にご参加いただきました。

メインテーマの「地域小児歯科の Level Up !!」は、地域特性を鑑みながら地方会大会が行われるべきであるという思いから田中晃伸大会長が掲げられました。

基調講演は、昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門教授 弘中祥司先生より「口腔機能の発達と障害」の演題で、口腔機能発達不全症の早期発見の重要性、ならびに口腔機能再獲得についての対応法をご講演いただきました。

特別講演 I は大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室教授 仲野和彦先生より「小児歯科医として知っておくべき全身状態の基礎知識」の演題で、感染性心内膜炎発症予防に関するガイドラインと低ホスファターゼ症を中心に最新の知見をご講演いただきました。

特別講演 II は、東京歯科大学名誉教授 柴原孝彦先生より「日本の口腔がん事情—AYA 世代の口腔がんを考える—」の演題で、若年層と関わる小児歯科医、矯正歯科医へ向け 10 代の口腔がん患者の現状等をご講演いただきました。

臨床講演は、総合病院国保旭中央病院小児科部長 仙田昌義先生より「子ども虐待のみかた～虐待のない世の中を目指して私達医療者にできること～」の演題で、子ども虐待のみかたと子ども虐待を疑い、通告できることの重要性と必要性についてご講演いただきました。

認定歯科衛生士地方会研修セミナーは、日本大学松戸歯学部障害者歯科学教授 野本たかと先生より「障害者歯科診療のススメ」の演題で、歯科衛生士の参画の重要性や障害者の特性、診療のヒントなどをご講演いただきました。

ランチョンセミナー A は、九州大学大学院歯学研究科小児口腔歯学分野主任教授、東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野主任教授 福本敏先生より「エナメル質のバイオアクティブ成熟化戦略～こども PMTC の実践による新しい齲蝕予防法を提案～」の演題で、S-PRG フィラーから徐放するマルチイオンを応用した高機能化エナメル質の形成を目指

した新しい予防法についてご講演いただきました。

ランチョンセミナー B は、とき歯科 土岐志麻先生より「知らぬではすまない！ みんなが知ってる口腔機能発達不全症～その取り組み～」の演題で、口腔機能発達不全症への関わり方やトレーニングの有効性などをご講演いただきました。

企業セミナー①は、東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野 山田重矢先生より「やってみよう！ より効果的な Smart Prevention ～機能性歯科材料の選択と齲蝕予防効果継続のポイント～」の演題で、シーラント材の体験や定期的なケアの方法をご講演いただきました。

企業セミナー②は、アークレイマーケティング株式会社マーケティング本部事業戦略部ヘルスケアチーム伊藤将之様より「わずか 5 分間で口腔内環境をみえる化～唾液検査装置 SilHa（シルハ）とは？」の演題で、歯周病などのリスクチェックが短時間で行うことができる SilHa の説明と運用事例を紹介いただきました。

研究者の集いでは、日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座、昭和大学歯学部小児成育歯科学講座、鶴見大学歯学部小児歯科学講座よりご発表いただきました。

ポスター発表では、特別企画として関東 9 大学による【当科における患者配布資料について】をご発表いただき、一般演題は 27 演題と盛会裏に終えることができました。

最後になりましたが、ご後援くださいました茨城県歯科医師会、茨城県南歯科医師会、取手歯科医師



3 年ぶりの現地開催

会、取手市、取手歯科衛生士専門学校の関係者の皆様、ご協賛いただきました企業の関係各位、そして関東地方会役員、会員の先生方、口腔保健協会事務

局の方々にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。



第37回関東地方会大会

## ●日本小児歯科学会関東地方会 令和4年度総会

日時：令和4年10月16日（日） 9：10～

場所：取手市民会館・福祉会館

### ◎総会次第

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| I. 開 会         | － 令和3年度 会計決算承認の件      |
| I. 会長挨拶        | － 監査報告                |
| I. 議長選出        | － 令和4年度 事業計画案承認の件     |
| I. 報告事項        | － 令和4年度 予算案承認の件       |
| 令和3年度事業概況報告    | － 次期大会（第38回大会）開催案承認の件 |
| I. 議 案         | － その他                 |
| － 令和3年度 事業承認の件 | I. 閉 会                |

### ◎令和3年度事業報告（令和3年度：令和3年4月1日～令和4年3月31日）

- 幹事会開催  
    令和3年4月14日、6月22日、9月8日、11月10日、令和4年2月16日（計5回開催）
- 日本小児歯科学会第36回関東地方会大会および令和3年度総会（オンライン開催）  
    令和3年10月17日（埼玉県・川越）
- モニター会議（オンライン開催）  
    令和3年10月17日
- 関東9大学小児歯科学講座・分野との懇談会  
    令和4年1月17日（オンライン開催）
- 公益社団法人日本小児歯科学会理事会出席  
    第253回令和3年4月28日（書面決議）  
    第254回令和3年9月5日（オンライン）  
    第255回令和3年9月29日（書面決議）  
    第256回令和3年10月12日（オンライン）  
    第257回令和3年12月5日（オンライン）  
    第258回令和4年3月6日（オンライン）
- こどもの健康週間2021パンフレット発行（令和3年10月）
- 会報第36号発行（令和4年2月25日）
- 関東地方会ホームページの運用

令和3年度日本小児歯科学会関東地方会・会計決算報告

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

科目		決算額 (円)	備考	
I 収入の部	会費収入	入会金	0	
		会費収入	0	
		賛助会費収入	0	
	事業収入	大会収入	5,513,900	第36回関東地方会大会収入合計 会報第35号広告収入
		広告収入	79,200	
寄付金収入	寄付金収入	4,589,063	本会からの補助金 2,035,000円 繰越金 2,554,063円	
雑収入	受取利息	0		
	雑収入	0		
当期収入合計 (A)		10,182,163		
II 支出の部	事業費	会誌刊行費	468,202	第36号会報発行
		大会補助金	350,000	第36回地方会大会への補助金
		大会事業費	4,763,281	第36回地方会大会支出合計
		関連団体年会費	0	
		表彰費	0	
		什器備品減価償却額	0	
	管理費	各種委員会費	0	COVID-19の影響で開催されず
		幹事会会議費	29,480	オンライン会議費
		事務費	990	印刷費・通信費・消耗品・雑費等
		ホームページ運用費	25,080	サーバー更新料2年分
特別支出	寄付金支出	4,545,130	本会会計へ返金(繰越金)	
予備費	予備費	0		
当期支出合計 (B)		10,182,163		
当期収支差額 (A) - (B)		0		

事業ならびに会計監査報告

令和3年度の事業及び決裁書類・会計書類等の閲覧および照合を行いました。その結果、正しく遂行されたことを証します。

令和4年9月21日

監事 早川 龍  
監事 高野 博子

◎令和4年度 事業計画案 (令和4年度：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

- 幹事会および4役会の開催
- 公益社団法人日本小児歯科学会関連事業への協力
- 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会・令和4年度総会の開催
- 関東9大学小児歯科学講座・分野との懇談会の開催
- モニター会議の開催
- 会報(第37号)の発行
- こどもの健康週間事業への参画
- 関東地方会ホームページの運用
- 小児科との連携・協働
- 日本小児歯科学会各地方会および他学会との交流
- 日本小児歯科学会第38回関東地方会大会・令和5年度総会の準備

- 地区小児歯科標榜医への啓発
- ジョイント4への参画  
(公益社団法人日本小児歯科学会関東地方会、  
口腔衛生関東地方研究会、公益社団法人日本  
障害者歯科学会、日本歯科衛生学会)
- 委員会の開催  
(ジョイント4委員会、歯科衛生士委員会、  
モニター委員会、広報・学術委員会、ICT委  
員会)
- その他、目的を達成するための活動

## 令和4年度日本小児歯科学会関東地方会・予算案

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

科目		予算額	備考	
I 収入の部	事業収入	大会収入	6,800,000	
		広告収入	100,000	
	寄付金収入	寄付金収入	6,329,130	第37回関東地方会大会収入 参加費・業者展示費・専門医更新料等 会報等の広告 本会からの補助金 1,784,000円 繰越金 4,545,130円
	雑収入	受取利息 雑収入	0 0	
当期収入合計 (A)		13,229,130		
II 支出の部	事業費	会誌刊行費	700,000	会報37号・ニュースレター等 第37回、第38回地方会大会 第37回地方会大会支出 会場設営・抄録・謝礼・昼食・大会広告等
		大会補助金	700,000	
		大会事業費	6,800,000	
		公開講座費	600,000	
	管理費	各種委員会費	500,000	委員会関連の支出(セミナー、シンポジウム含む) 役員会開催費・9大学との懇談会・慶弔費等 印刷費・通信費・消耗品・雑費等
		幹事会会議費	500,000	
事務費		35,000		
	ホームページ運用費	200,000		
特別支出	寄付金支出	3,149,130	本会会計へ返金	
予備費	予備費	45,000		
当期支出合計 (B)		13,229,130		

### ◎会員動向

上段：2023年1月11日現在 下段：2021年11月22日現在(名)

	正会員	準会員	名誉会員	会員数合計	専門医 指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科 衛生士
茨城県	77	10	0	87	1	11	1	1
	77	12	0	89	1	12	2	0
栃木県	39	0	0	39	0	3	0	0
	40	1	0	41	0	4	0	1
群馬県	47	2	0	49	0	4	0	0
	45	2	0	47	0	5	0	0
埼玉県	234	25	0	259	8	53	4	7
	242	24	0	266	8	57	4	7
千葉県	227	11	4	242	13	49	0	10
	219	7	5	231	14	49	1	11
東京都	841	84	7	932	42	198	18	8
	836	71	7	914	43	209	18	7
神奈川県	319	48	2	369	17	78	6	10
	321	43	2	366	17	86	6	9
山梨県	19	4	0	23	0	0	0	0
	20	3	0	23	0	0	0	0
合計	1,803	184	13	2,000	81	396	29	36
	1,800	163	14	1,977	83	422	31	35

## 委員会報告

### ジョイント4委員会

委員長：草間里織

委員：藤岡万里， 富永真澄， 小平裕恵

各分野の学術大会や研修会・セミナー等などが対面開催や趣向を凝らしたハイブリット開催になるにつれて，情勢を見据えながらジョイント4委員会の活動を試みておりましたが，2022年度も残念ながら開催することができませんでした。

そのような中，2022年10月16日(日)の第37回関東地方会大会では現地開催が実現し，かつての活気溢れる学術大会を体感できたことは大変感慨深いものでした。久しぶりに再会をした同士との語りから生まれる新しい発想や，討議で学べたことは，対面だからこそその魅力だと改めて気づかされました。

新型コロナウイルス感染症拡大も新たな角度からまだまだ予断を許さない環境もありますが，2023年は引き続き4学会との開催に向けて協議をすすめていく所存です。「多職種協働・連携」を目的として，様々な職種，世代を超えた様々な臨床経験値の参加者の交流の場ともなるような企画が検討できればと考えております。できましたら対面開催で，皆様と直接意見交換をしながら情報共有できることを目指したいと思っております。その折には，会員の皆様にお知らせさせていただきます。開催の際には奮ってご参加ください。

### モニター委員会

委員長：関口五郎

委員：岩下 智， 中村佐和子， 保田将史， 三井園子

現在，地域歯科医院勤務医・開業医，大学病院・病院歯科勤務医，歯科衛生士の32名の方々にモニターをつとめていただいております。いただいたご意見やご要望は，地方会や本会の運営に役立たせていただいております。

令和4年度のモニター会議は，第37回関東地方会大会と同日に対面で行われました。大会も久しぶりの対面開催ということで多くの方がお越しになりました

が，モニター会議でもそれぞれの医療機関や地域の現状について多くのご報告やご要望をいただきました。

大学病院の先生からは，新型コロナウイルスの蔓延により水際対策が非常に厳しくなり，全身麻酔下の歯科治療のスケジュールにも影響を与え，患者さんにはお待ちいただいている状況が続いている例があることが報告されました。地域の先生からは，いわゆる「グレーゾーン」の発達障害の子どもが地域歯科医院を受診され，対応に苦慮する場面を経験している例を報告いただいた他，口腔機能発達不全症について関東地方会の中でも検討して，地域の先生に発信する機会を作っていただきたいとの要望も出されました。また患者さんの対応について，地域の先生から大学での進め方を尋ねる質問も出され，大学ではまず患者さんとしっかり向き合って，情報収集をしたうえで個別の対応を決めている状況を示されるなど，大学病院と地域歯科医院との意見交換もみられました。今後も関東地方会ではいただいたご意見やご要望を検討して，開かれた関東地方会を目指し，会務や活動に生かしてゆきます。

### 広報・学術委員会

委員長：熊澤海道

委員：小方清和， 高橋康男， 塩野康裕

2022年度より学術委員会と広報委員会が統合され，新たに学術・広報委員会が設けられました。

学術・広報委員会としての2022年度の活動と今後の活動について報告いたします。

#### 【2022年度の活動】

##### 1. 学術

- ①第69回日本小児保健協会学術集会への参加  
大会テーマ『みんなが安心して安全な未来を目指して』

日程：令和4年6月24日～26日

三重県総合文化センター

- ②日本小児歯科学会第37回関東地方会大会の開催  
大会テーマ『地域小児歯科のLevel Up!!』

日程：令和4年10月16日  
取手市民会館・福祉会館

## 2. 広報

- ① 広報誌の発刊：年度末に発刊
- ② こどもの健康週間事業関連：「こどもの健康週間 2022 パンフレット」発刊

### 【今後の活動】

- ① 地方会大会における学術的な企画運営の参画
- ② 子どもたちの健やかな育ちを考える学会・団体との学術的な交流を図る
  - ・日本小児保健協会委員会参加
  - ・東京小児科医会との協賛事業の参画
  - ・日本保育保健協会への参画
- ③ ICT委員会との連携

2022年度より新設されたICT委員会と連携し、学術・広報部門ともにネットワークを活用した情報・知識の共有を行っていきたいと考えています。

2023年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況も考慮しながらICT委員会をはじめとする各委員会との連携を図り、迅速かつ幅広い情報提供やセミナー等を企画していきたいと考えています。

## 歯科衛生士委員会

委員長：吉中 律  
委員：草間里織、関 龍彦、島津貴咲

2022年度第37回関東地方会大会における認定歯科衛生士セミナーは「障害者歯科診療のススメ」と題して日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座教授 野本 たかと先生にお願いいたしました。障害者の歯科診療において診療行為は一般の歯科診療と変わりは

なく、障害者の多様な特性を意識した対応や工夫、配慮をすることで適切な歯科医療を提供することが可能であり、歯科衛生士の参画の重要性をお話されました。

障害者歯科診療の基本はFour Handed DentistryでありDHの役割はとて大きく、熟練した技術と豊富な知識を有する歯科衛生士との診療が成功のカギであると、症例を基にご説明いただきました。日々の臨床に役立つための障害者の特性や診療のヒントをご講演いただきました。参加者は約120名となり大盛況でした。

## ICT委員会

委員長：権 暁成  
委員：諸星孝夫、巢瀬賢一、長弘茂樹、敦賀佐和

新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）は、2019年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月ほどの間に世界的なパンデミックとなり、その影響で第35回大会は中止となり、第36回大会はWeb開催となりました。

半面、Webを活用したセミナーや学術大会は参加者の時間や場所を選ばずに参加できるというメリットも見出されました。

今年度より新設されたICT（Information and Communication Technology）委員会は、一人でも多くの会員の先生方に、ネットワークを活用した情報提供や知識を共有することを目的としております。また、ここ数年COVID-19の影響で開催できていなかった東京小児科医会の先生方との合同セミナーについてもWebにて開催予定となっております。

ICT委員会ではCOVID-19の感染状況に左右されないというWeb活用のメリットを生かし、今後は各委員会と連携を図り会員の先生方へ迅速な情報提供ならびにWebセミナー等を企画して参りたいと思います。

## 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会開催

令和5年1月23日（月）、「令和4年度 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会」が3年ぶりに対面形式にて開催されました。懇談会

は今回で23回目を迎え、大学から朝田芳信教授（鶴見大学）、岩本 勉教授（東京医科歯科大学）、木本茂成教授（神奈川歯科大学）、清水武彦教授（日本大学



松戸歯学部), 白川哲夫教授(日本大学), 新谷誠康教授(東京歯科大学)【50音順】にご出席いただき, 幹事会から幹事20名, 監事1名が参加しました。

藤岡万里幹事長の司会のもと小方清和副会長の開会の挨拶に続き, 浜野美幸会長による会長挨拶が行われました。

「公益社団法人日本小児歯科学会からの報告」では, 日本小児歯科学会(専門医制度)について, 岩本教授より新制度が来年度から運用が開始されること, 現在の決定事項と協議中事項についての報告があり, 詳細は順次, 全会員に周知していく予定とのことでした。次に清水教授から日本小児歯科学会(新認定医制度)について専門医制度同様, 現在の決定事項と協議中事項の報告があり, 早ければ来年度後半の新認定医試験の実施を目指しているとのことでした。次に木本教授から第62回日本小児歯科学会について, 2024年5月16, 17日, 横須賀芸術劇場にて開催されるとの報告がありました。最後に新谷教授から日本小児歯科学会全般について, 第61回日本小児歯科学会大会の開催, フッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法について4学会合同提言を行ったこと, 2027年IAPD誘致活動について, 厚労省への母子健康手帳に関連する内容の提案, PDJにインパクトファクターが付与されることなどについて報告されました。

「関東地方会の動き」では, 藤岡万里幹事長より関東地方会会員動向, 令和4年度・令和5年度役員, 令和4年度事業概況報告および令和5年度事業計画案について, 次に山崎優会計より令和5年度予算案の報告がありました。各委員会の活動については, ジョイント4委員会, 歯科衛生士委員会, モニター委員会, 学術・広報委員会およびICT委員会の各担当幹事より報告がありました。第37回関東地方

会大会開催について富永真澄準備委員長より報告されました。第38回関東地方会大会について高橋康男大会長より, 開催日や, 会場, テーマが報告され, 9大学ポスターのテーマについて大学の先生方へのご相談がありました。

「各講座・分野からのご意見・ご要望」では朝田芳信教授から, 子ども家庭庁と歯科の関わりについて, 多職種連携の重要性, 妊産婦歯科健診への参画, 小児歯科医育成のための奨学金制度の提案などのご意見, ご要望をいただきました。岩本勉教授から, 地方活性化について, 東京工業大学との合併などのお話がありました。木本茂成教授から, 大学と地方会との連携, 国民・社会への歯科の周知, 女性の社会復帰の場としての大学の役割についてなどのお話がありました。清水武彦教授から, 小児歯科学会理事長と共に自見議員と意見交換を行ったこと, 医局員の学会運営参加などのご意見をいただきました。白川哲夫教授から, 第60回小児歯科学会大会の報告と御礼, 今年度で退任されること, 第38回関東地方会大会での9大学ポスターのテーマとして「当科の研究から30年後の小児歯科を予想する」について興味深いテーマであることなどのお話がありました。新谷誠康教授から, 子ども家庭庁への参画が小児歯科学会における今後のテーマの一つであること, キャリアプランニングの重要性, IAPD誘致のためIAPDへの入会のご意見とご要望をいただきました。

最後に浜野美幸会長から総括をいただき, 岩下智副会長の閉会の挨拶で終了となりました。

閉会后, 浜野会長より今年度で退任される白川教授へ当幹事会から感謝の気持ちとして, 花束の贈呈がありました。



3年ぶりに対面形式で行われた懇談会の様子



浜野会長より白川教授へ花束贈呈

## 日本小児歯科学会国際渉外部より

現在、日本小児歯科学会国際渉外委員会では仲野和彦委員長（大阪大学小児歯科学教室教授）を中心に2027年の国際小児歯科学会（International Association of Paediatric Dentistry：IAPD）の招致に向けて活発な活動を行っております。

委員会では、「日本における国際小児歯科学会の会員数の増加」について2022年秋の学会シーズンにできることとして、日本小児歯科学会の6つの地方会大会において、専用のブースを設け、IAPDの紹介および入会サポートなどを行って参りました。

また、関東地方大会においても、ポスター・商業展示会場をお借りしIAPD招致に関するアナウンスを行い、国際渉外委員会の活動を参加者に認識していただくことに努めて参りました。この一連のキャンペーンにより、関東地方会会員の多くの先生方に入会いただくことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

しかしながら、まだ会員数が少ないのが現状です。入会費については割引制度があり、学生会員・シニア会員（65歳以上）は2年で60ユーロです。大学院生などの学生会員は別途証明書が必要となりますが、当委員会にて書式を準備しております。また、正会員については2年間で120ユーロ、5年間で240ユーロとなっております。また、IAPDよりメールでの情報提供（毎月）、大会参加費の割引等の特典があります。詳しくは下記までお問合せください。

●日本小児歯科学会 学会事務局 E-mail：jspd@kokuhoken.or.jp

## 各地方会大会開催案内

### 第41回日本小児歯科学会北日本地方会 大会および総会開催要項

日時：令和5年10月8日（日）  
会場：けんしん郡山市民文化センター（予定）  
大会長：島村和宏

大会テーマ：「こどもたちの健康と健口を守るために」  
（大会内容）

- 1) 特別講演：「(仮題)放射線の影響と健康」  
講師：坪倉正治先生（公立大学法人福島県立医科大学放射線健康管理学講座教授）
- 2) 教育講演1：「(仮題)障がい児の口腔機能」  
講師：田村文誉先生（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック口腔リハビリテーション科教授）
- 3) 教育講演2 スポンサーセミナー：「(仮題)機能的咬合誘導」  
講師：福井和徳先生（奥羽大学歯学部成長発育歯学講座歯科矯正学分野教授）

- 4) ポスター発表
  - 5) 総会
  - 6) ランチョンセミナー予定
  - 7) 認定歯科衛生士地方会研修セミナー（教育講演1を充当）
- 大会事務局：口腔保健協会（一財）口腔保健協会  
コンベンション事業部  
〒170-0003  
東京都豊島区駒込1-43-9  
E-mail：jspd-n41@kokuhoken.jp

### 第42回日本小児歯科学会中部地方会 大会および総会のご案内

日時：令和5年9月17日（日）  
会場：じゅうろくプラザ（JR岐阜駅直結）  
大会長：齊藤一誠（朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野教授）  
準備委員長：若松紀子（朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野講師）

大会テーマ：「口腔を中心とした小児医療体制の構築を目指して」

(大会内容)

- 1) 教育講演Ⅰ：「免疫異常疾患における小児科と口腔外科のクロストーク (仮)」  
大西秀典先生 (岐阜大学大学院医学系研究科生殖・発育医学講座小児科学分野教授)
- 2) 教育講演Ⅱ：「睡眠時無呼吸における小児科と小児歯科の医科歯科連携 (仮)」  
杉山 剛先生 (一宮西病院小児科部長)
- 3) 特別講演Ⅰ：「岐阜市における口腔保健の取り組み (仮)」  
野村隆之先生 (岐阜市保健所保健衛生審議監兼中保健センター所長兼健康増進課口腔保健支援センター所長)
- 4) 特別講演Ⅱ：演題未定  
今泉三枝先生 (愛知県新城市今泉歯科)
- 5) 歯科衛生士セミナー 認定更新必須研修セミナー (調整中)
- 6) 歯科衛生士実技 (調整中)
- 7) ポスター発表
- 8) 総会
- 9) 商業展示

大会事務局：朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851  
Tel：058-32-1130  
Fax：058-329-1493  
E-mail：chubu42@dent.asahi-u.ac.jp

### 第42回近畿地方会大会

日 時：令和5年10月22日(日)  
会 場：千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市)  
大会長：増田勝彦(大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室臨床教授)  
準備委員長：大川玲奈(大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室准教授)

大会テーマ「小児歯科医療の将来を見据えて」

(大会内容)

特別講演：林 美加子 教授(大阪大学大学院歯学研究科歯科保存学教室)

教育講演：黒坂 寛 准教授(大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔矯正学教室)

横田祐介 助教(大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第一教室)

歯科衛生士セミナー：岩瀬陽子 教授(朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野)

大会事務局：大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8

Tel：06-6879-2962

E-mail：nishijima-m@office.osaka-u.ac.jp

### 第42回中四国地方会大会および総会

日 時：令和5年11月19日

会 場：米子市文化ホール

大会長：林原哲之(林原歯科クリニック院長)

準備委員長：仲 周平(岡山大学病院小児歯科)

学会テーマ：「つながりと革新—これからの小児歯科を考える」

(※講演者、講演内容：「未定」)

大会事務局：岡山大学学術研究院医歯薬学域(歯)小児歯科学分野

〒700-8558

岡山市北区鹿田町2-5-1

### 第41回九州地方会大会および総会

日 時：令和5年10月29日(日)

会 場：福岡歯科大学50周年記念講堂

大会長：岡 暁子(福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野教授)

準備委員長：馬場篤子(福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野准教授)

大会テーマ：「輝く Smile を届けよう！ ～未来を拓く子どもたちへ～」

(※講演者、講演内容：「未定」)

大会事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野

〈日本小児歯科学会関東地方会〉  
令和3～4年度 役員名簿

会 長	浜野 美幸		
副会長	岩下 智	小方 清和	
幹事長	藤岡 万里		
会 計 幹 事	山崎 優		
	巢瀬 賢一	諸星 孝夫	
	中村佐和子	高橋 康男	
	関口 五郎	富永 真澄	
	草間 里織	吉中 律	
	熊澤 海道	権 暁成	
	保田 将史	関 龍彦	
	島津 貴咲	長弘 茂樹	
	塩野 康裕	敦賀 佐和	
	三井 園子	小平 裕恵	
監 事	早川 龍	高野 博子	
顧 問	吉田 昊哲	井上美津子	
	井上 雄温	丸山進一郎	
	田中 晃伸	田中 英一	
ジョイント4委員会	草間 里織		
広報・学術委員会	熊澤 海道		
モニター委員会	関口 五郎		
歯科衛生士委員会	吉中 律		
ICT委員会	権 暁成		

■編集後記

関東地方会会報37号をお読みいただきありがとうございます。  
ございます。

今号より編集に携わらせていただくこととなり、不安しかありませんでしたが、多くの方々のご協力により無事発刊できましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が蔓延してから3年という月日が経ち、学会等もオンライン開催からハイブリットによる開催、そして現地開催が増えてきました。「コロナ禍」という逆境にも負けず新たな可能性を見出していく、まるで子どもたちの成長のような進化を遂げているように感じます。

人と人が直接交流できることの素晴らしさを改めて実感できる環境となるとともにICTを駆使した情報提供のツールも進化することでさらに大きなフィールドとなっていくと思います。

本稿もその一助になることを期待しています。

(熊澤海道記)



〈お知らせ〉

住所変更、姓変更は本会事務局では取り扱っておりません。  
必ず口腔保健協会 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9  
TEL 03 (3947) 8891 (代) へお願い致します。

令和5年(2023)2月22日 印刷

令和5年(2023)2月28日 発行

発行者 浜野 美幸

発行所 日本小児歯科学会関東地方会 会報編集委員会

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子249

緑生会あびこクリニック 歯科

日本小児歯科学会関東地方会事務局 TEL 04-7184-0675

医薬部外品 薬用歯磨剤

フッ素として1450ppm 配合

研磨剤・着色料不使用

ミックスベリーミント風味

# お口の pH に着目した歯磨き剤

2023.2.21  
新発売



フッ化物配合歯磨

**ミラノージェル**<sup>®</sup>  
MIRANO GEL

**ご注意**

6歳未満の子供へは使用させないでください。

6歳未満の子供の手の届かない所に保管してください。

販売名：ミラノージェル 内容量：45g



製造販売元

(株)ビーブランド・メディコーデンタル

大阪市東淀川区西淡路 5-20-19

TEL:(06)6370-4182 <https://bee.co.jp/>

作成日：2022.12

くすりに関するご相談は「医療情報推進部」まで。

☎(03)3295-6926

土・日・祝日を除く 9:00~12:00  
13:00~17:00



製品情報  
弊社ホームページ

# 書籍案内



—知っておきたい—

## 小児の歯科外科処置と顎顔面疾患

高野伸夫 = 編著

本書では代表的な歯科外科処置についてわかりやすく解説する。術者は復習の意味から、また、介助者は安全で的確な治療を支えるために参考にしたい。

■ A4判 / フルカラー / 134ページ  
定価：2,530円（本体2,300円+税）

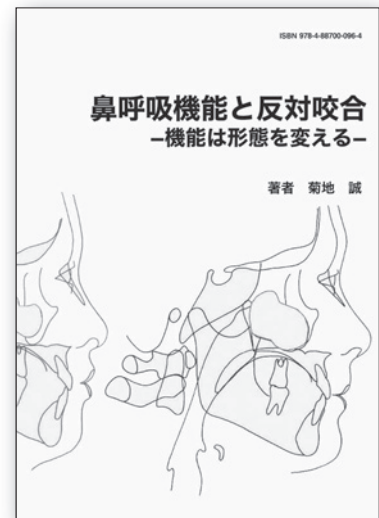
## 鼻呼吸機能と反対咬合 —機能は形態を変える—

菊地 誠 = 著

本著では、顎顔面の「機能と形態」の成り立ち、環境因子による変化、および耳鼻科治療、矯正治療による変化の過程を、矯正医の視点から鼻呼吸機能に焦点を絞り、比較検討することで、著者の臨床を通じた「機能と形態」についての考え方を示している。

デモンシステムを始める初心者への道標として、また、すでにデモンシステムを使われている先生方には知識の確認としてご活用いただきたい。

■ A4判 / フルカラー / 178ページ  
定価：11,000円（本体10,000円+税）



## 小児歯科の今と明日を見つめて—。 月刊「小児歯科臨床」

毎月1日発行 / 編集協力：全国小児歯科開業医会（JSPP）

■情報の視野を広げる充実のシリーズ

○巻頭特集

- ・子どものライフスタイルと健康との関わりを各界、分野の専門家が多彩な切り口で迫る。
- ・明日からの診療に役立つ情報を最新のエビデンスを交えて提供。

○臨床研究・臨床報告 ○エッセー ○活動報告

■ A4判変型（フルカラー） [定価] 3,080円（本体2,800円+税）  
年間購読料（12カ月）36,960円（33,600円+税）

# 予防矯正は 3歳から？

それは可能だ！



THE TONGUE  
舌の挙上



THE NOSE  
健全な鼻呼吸



THE LIPS  
口唇閉鎖



機能的諸問題の教育・訓練に使用し形態と機能の相互関係に作用して  
本来の正常な成長を促進します。



To find out more  
consult your practitioner.

## EF Line®



orthoplus®  
prepare the future

オーソデントラム

米国オーソオーガナイザーズ社・独国デントラム社総代理店  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-7-15 日本橋トグチビル 2F  
TEL.03-5652-3322 FAX.03-5652-3393 URL <http://www.ortho.co.jp>

# Refine for the future

健康な歯を保つために毎日の歯磨きを行うことは大切です。

歯磨きに限らず、毎日使う道具や物の手入れをし、  
磨き続けることは人々の仕事や生活に欠かせない行動です。

オサダに関わる人々の毎日が輝くように。

そして、品質にも磨きをかけて、そこに心を澄ませます。

今日も、明日も、



## OSADA

磨いていこう、この先も。

OSADAは新たに歩み始めます。

### NEW NORMAL を OSADA と。

長田電機工業株式会社

〒141-8517 東京都品川区西五反田 5-17-5  
[www.osada-electric.co.jp/dental/](http://www.osada-electric.co.jp/dental/)

オサダ web サイトはこちら



お問い合わせはこちら

